

# ケーブルテレビ全市拡張

総額 24億6,870万2千円

## 関連補正予算 否決

### 議案第53号

平成21年度一般会計  
補正予算(第3号)の内容

市長のマニフェスト(選挙公約)にも掲げられているケーブルテレビの全市拡張に要する経費が、嘉麻市に有利な国からの補助金交付を受けるため、6月9日(本会議2日目)、補正予算として急ぎよ提案されました。全市拡張で計画されている内容は、左記のとおりです。

#### 全市拡張で計画中の内容

内容	備考
地上アナログ放送	地上波7チャンネル(NHK・民放)
地上デジタル放送	地上波7チャンネル(NHK・民放)
自主放送	自主放送、文字放送、投稿放送
BS放送	10チャンネル(NHK・民放)
有料CS放送	10チャンネル
有料インターネット	通信速度が1.5Mから30Mにアップ
※独居老人健康指導支援システム、個別音声告知放送、無料インターネット、市内無料IP電話は、検討中。	

全市拡張により、2011年のデジタル放送への完全移行時に予想されている市内難視聴地域の解消や市内情報格差の是正、独居老人健康指導支援システムを活用しての安全・安心のまちづくりなど多方面での活用が可能であり、また、国の経済対策を活用することで、市の持ち出しはほとんどなくなるとの説明がなされました。基本利用料金は、市内全世帯(約1万9千

#### 《補正予算の内訳》

	内容	金額
歳入	地域情報通信基盤整備交付金(国庫)	9億 888万7千円
	財政調整基金繰入金	△1億9,168万5千円
	ケーブルテレビ整備事業債(合併特例債)	17億5,150万円
	歳入計	24億6,870万2千円
歳出	拡張工事費	29億9,650万5千円
	(内訳) 調査・設計・施工管理委託料	7,320万4千円
	ケーブルテレビ拡張工事	29億1,401万2千円
	供架柱申請審査料	928万9千円
	山田地区リブレース費	△5億2,780万3千円
	歳出計	24億6,870万2千円

世帯)が加入すれば、月額で600円、60%の世帯が加入すれば、1000円と試算されています。この場合、NHK受信料、CS放送、有料インターネットは別料金となります。また、拡張工事は、平成22年度中に完了し、平成23年4月から放送を開始する計画となっています。

本案は、議長を除く議員全員で構成される予算特別委員会に付託され、2日間にわたって審査が行われました。

## 予算特別委員会での主な質疑

**問** ケーブルテレビ全市拡張のメリットは。

**答** メインとしてはデジタル放送の難視聴解消で、自主放送では議会や成人式なども流せるし、有料CSやインターネットも安く提供できる。

また、独居老人と市の看護師を結ぶ健康指導システムは、担当課に準備させているし、家の中でも防災情報を得ることができる。

電気事業者を中心に活性化するほか、嘉麻市の一体化にもつながる。

そのためのインフラ整備を市のお金を使わないで今できるということでは決断している。

**問** 市の持ち出しは。

**答** 国の経済対策など補助金を活用すれば、1045万円程度と試算している。

**問** 3月議会で約束していたアンケート調査は行わないのか。

**答** PRなどをせず、市民が十分に内容を把握しないままアンケートをするとやめたほうがいい。

が良いということになるし、7月に国の認可が出ることとなっているので、それには間に合わない。

インフラを整備してから、付加価値として何を市民が望んでいるか希望を聞きたい。

**問** デジタル放送の難視聴世帯はどのくらいか。また、他市町への

拡張は可能か。

**答** 市の調査では、約1700世帯と考えているが、庄内の中継局が廃止になれば、難視聴世帯はさらに増えると考えている。また、他市町への拡張は可能だと考えている。

**問** 稲築地区はケーブルテレビに非常に敏感で、お金を払ってまでテレビを見るのかという声もあるし、CS放送やインターネットも個人で引いている世帯も多い。そういう中で60%の加入が見込めるのか。

**答** 全市に拡げることでは情報格差をなくし、不公平感もなくなると考えている。

加入率については、住民説明会を開催し、ケーブルテレビの良さを知らせるなど、議会と一体となって努力をしたいと考えている。



**問** 市長の決断の度合いは、どれくらいか。

**答** 千載一遇のチャンス。これを逃したらないと思う。嘉麻市の活性化にもつながるので、絶対これをするという気持ちで、提案している。

## 予算特別委員会での採決の結果

記名投票による採決の結果

出席委員22名  
欠席委員2名

賛成11名  
反対10名

以上の結果となり、可決すべきと決しました。

※委員長は採決に加わりません。

## 審査の流れ

本会議

委員会  
審査付託

予算特別  
委員会  
詳細に審査を行い、  
結論を出す

委員長報告

本会議  
予算特別委員会での  
審査結果を参考に議会  
としての最終的な結論  
を出す

# 本会議での 討論(意見)

本会議では、賛成4名、反対6名の討論がありました。

## 主な賛成意見

- 将来に向けた嘉麻市の特色あるまちづくりにおいて、情報整備基盤の整備は重要だ。
- 市長のマニフェストにも掲げられている事業であり、地域情報基盤整備推進交付金を活用すれば、市の持ち出しは約1000万円程度で済む。福祉・医療等の向上、安全安心のまちづくりに寄与する。
- 今、まちづくりのメイン事業はない。情報整備事業をまちづくりのメインに。
- 嘉麻市に2度とない最大の福音であり、難視聴対策に大きな役割を果たすとともに、資源に乏しい嘉麻市に新たな情報資源を生み出すこととなる。

## 主な反対意見

- ランニングコストがどれくらいかかるのか、どれだけの加入者がいるのか示されておらず、利用料金も決まっていないなどあまりに不透明な面が多すぎる。
- アンケートも実施されておらず、民意が反映された施策となっていない。
- 財政状況は好転しておらず、合併後10年を過ぎるとさらに財政は厳しくなる。
- ケーブルテレビ事業を行うより、通院のためのタクシー代を削りながら、生活をしている市民がいる中で、子どもやお年寄りのための福祉を充実させるべきだ。
- 山田地区のケーブルテレビ事業の費用負担は、他の地域の市民がしている。拡張するよ、敬老祝金や出産祝金の復活や少子高齢化にもっと力を入れてほしい。

● 市民約170名に議会に提出された資料に基づき説明を行ったが、全員が反対している。住民を無視した決定はできない。

● 市長の熱意は、理解するが、1000万円削減するためにも市民に大変な苦勞をかけている。今後、予想以上のランニングコストを抱えたときに、嘉麻市は持ちこたえられないのか。民意を聞かれないままの施策には賛成できない。

## 記名投票の結果

議案第53号  
平成21年度一般会計補正予算(第3号)

投票総数23票 有効投票数23票

賛成議員(11票)

樹一弘夫男	上 間村永	人子明光美馬
孝伸幸春雪	田藤赤中吉	清惠本由尋一
		谷淵中原田
		大田田宮嶋豊

反対議員(12票)

治明三彦彦恵	部倉富藤田水	勝生子次一夫
敏敬道吉	跡山北佐浦清	利民紘健雄丈
		永水木里原
		岩永荒大梶森

欠席議員  
廣 田 一 男

※議長は投票に加わりません。

## 臨時議会においても否決!!

7月7日、臨時議会が招集され、ケーブルテレビ全市拡張のための補正予算が再度提案されました。

前回の予算(6月定例会で提案された議案第53号)は、各家庭の外までの工事費用でしたが、今回は、屋内のテレビ(1台)まで配線する費用を加え、前回より約1億7500万円増の26億4344万3千円を補正増するものです。

記名投票の結果、賛成11名、反対12名で否決となりました。

なお、賛成議員、反対議員の氏名は、議案第53号の採決の結果と同様となっています。

## 記名投票と 無記名投票

傍聴に見えた市民の方々から、採決の方法が複雑で、時間がかかりすぎるとの指摘を受けました。

嘉麻市議会では、会議規則を定め、その第67条から第77条の規定にそって、採決を行っています。

今回の場合、記名投票で採決をしてほしいという要求と、無記名投票で採決をしてほしいという要求がそれぞれ2名以上ありましたので、どちらの方法により採決を行うか、無記名投票を行い、記名投票で議案の採決を行うこととなりました。

議会としましては、ルール(条例や規則)にのっとり、公平・公正な議会運営を行っており、市民の皆様方のご理解をたまりませんようよろしくお願いいたします。